

平成23年度学校評価結果報告書

桶川市立加納中学校
校長 田代 孝治

1 目指す学校像 「一人一人が輝き、夢と誇りの持てる爽やかな学校」

- ① 明るく元気な挨拶が飛び交う和やかな学校
- ② 歌声が響き、声高らかに校歌を歌える学校
- ③ 生き生きと学びがあふれる学校

2 評価結果

領域	No.	評価項目	自己評価		学校関係者評価
			評価	説明及び学校の考え	
組織・運営	1	学校は、学校教育目標の達成に向けて、組織的に取り組んでいる。	84% B	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初の職員会議での共通理解。 ・校長室だよりを基にした学校経営方針の共通理解。 ・各校務分掌における実態に応じた積極的な取組。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちがよく声をかけてくれる、あいさつが良くできている点が評価できる。 ・子どもたちが、あいさつ運動や外周道路のゴミ拾いなど、自主的にボランティア活動に取り組んでおり、学校教育目標の達成に近づいてきている。 ・保護者や地域の要望に対して、学校としての迅速な対応が良くできている。
	2	学校は、保護者や地域の願いに耳を傾け、地域社会に根ざした学校づくりに取り組んでいる。	79% B	<ul style="list-style-type: none"> ・学期に1回の保護者会や、夏休み期間中の家庭訪問・三者面談、2学期の全校三者面談等の実施。 ・生徒指導サポートチームや、学校評議会、民生委員との懇談会等の積極的な実施。 ・PTA活動への積極的な協力。 	
学習指導	3	学校は、学力の向上を目指し、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	79% B	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究テーマ「加納中型授業スタイル」の定着を目指し、指導力の向上を図る。 ・定期テスト前の補充学習、朝学習の実施。 ・定期テストや各種学力テストの結果の検証を行い、指導計画や指導方法の見直しを実施する。 ・「テスト計画表」の作成と実践を通して、家庭学習の定着を図る取組。 	<ul style="list-style-type: none"> ・達成率が100%は難しいかもしれないが、「見捨てない」というスタンスでやっていくのがとてもよい。 ・計算は小学校でできないと中学校で差が出てきてしまう。基礎がとても大切である。 ・授業を参観したが、全体的に落ち着いた雰囲気で行われていた。
	4	学校は、学習ルールを定めて授業を進めるなど、共通理解のもとに指導にあたっている。	79% B	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初の研修会での共通理解。 ・共通指導マニュアルの策定による職員の共通行動の実践。 ・授業研究会や研修会の定期的な実施。 ・授業規律(加中5ヶ条)の策定と共通実践。 ・年3回の学校公開日。 	
生徒指導・教育相談	5	学校は、いじめや問題行動を見逃さずに解決に向けて取り組んでいる。	80% B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導部からの生徒指導だよりの発行。 ・生徒アンケートの実施。 ・共通理解をもとにした学校としての、生徒一人一人へのきめの細かい対応。 ・生徒会活動や委員会活動を通した豊かな心の育成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ、暴力が不登校の原因になる場合もある。本校では、学校がよくやってくれていると考える。 ・「子どもの味方」、「子どもを見捨てない」というスタンスは、継続して欲しい。
	6	学校は規範意識を高める指導を全教職員の共通理解のもとで取り組んでいる。	84% B	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初の職員会議での共通理解。 ・生徒指導だよりによる共通理解と指導。 ・共通指導マニュアルの策定とその指導。 ・朝会等における集団指導の徹底。 ・朝会時の生活委員会による名札点検。 ・道徳教育の積極的な実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭については、大震災もあり、心の教育の為にも、タイムリーな取組であったと感じる。 ・小中学生の交流がもっとあると良い。小学生が中学生にあこがれるようになれば、中Iギャップもなくなるのではないかな。
	7	学校は、生徒の豊かな心の育成のため、具体的な取組を行っている。	83% B	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭において「命」を統一テーマに、「命のメッセージ」を作成するなど、全校一斉に道徳や人権教育の実践を行った。 ・生活標語の作成。 ・毎朝のあいさつ運動や有志による落ち葉掃き、外周道路のゴミ拾い。 	

健康教育	8	学校は、児童生徒の体力向上に向け、体育や部活動などに積極的に取り組んでいる。	87% B	<ul style="list-style-type: none"> 各種部活動大会への積極的・計画的な参加。 休日、長期休業中の部活動への積極的・計画的な参加。 体育祭、球技会等を通じた、体力向上の取組。 保健の授業における健康安全指導の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校としてよく取り組んでいると考える。 新体力テストの結果で、握力と50m走が全国や県の平均に達していないのが気になる。 健康教育という幅広い視点で子どもたちを見ていく必要がある
	9	学校は、栄養バランスのとれた規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。	88% B	<ul style="list-style-type: none"> 給食日より、昼の放送を使った生徒、家庭への意識喚起の取組。 給食委員会による給食感謝会の実施。 学校保健委員会での保護者に対する啓発活動。 学校栄養職員による掲示物作成とその掲示を通じた意識の向上。 	
学習環境	10	学校は暖かさと潤いのある学ぶ環境作りを組織的に進めている。	88% B	<ul style="list-style-type: none"> 校内掲示の充実(美術作品・書写作品等)。 教室掲示の工夫と充実。 P T Aや学校応援団による定期的な環境整備作業。 加中ファーム(農園)の取組を通じた体験的活動。 	<ul style="list-style-type: none"> 校庭の雑草が多いが、仕方のないこと。地域の方や先生方でよくやっていると考える。今後も応援していきたい。 校舎南側の高木は、外から見えないという点に於いて、防犯上大丈夫なのか。
	11	学校は教材備品を充実整備し、学習環境の充実を図っている。	86% B	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初における教材備品の確認と補充。 備品台帳の整理と確認を行い、計画的に教材備品の整備を行う。 授業や行事におけるI T関連機器の積極的な利用。 	
教職員の資質向上	12	学校は、教職員の指導力向上に計画的・組織的に取り組んでいる。	84% B	<ul style="list-style-type: none"> 月1回の定期的な研修会。 校内授業研究会・授業見学会の実施。 学校課題研究の取組を通じた授業力向上の研究。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員間の協力体制がきている。 子どもたちが授業に集中するようになった。 先生方が明るくなった。 先生と子どもたちとの関係が以前よりよくなった。 面識のある先生方が増え、学校がより一層身近に感じられるようになった。
	13	教職員が、保護者や外部の人材と積極的に関わろうとしている。	79% B	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭の体験講座での外部指導者との応対と連携した指導。 P T Aの各種活動や学校応援団事業等への職員の積極的な参加。 	
家庭・地域との連携	14	学校は、学校便りやホームページ等で、教育活動の様子や結果・課題等について情報提供している。	82% B	<ul style="list-style-type: none"> 月1回のホームページの更新→新しいホームページの作成(近日公開予定) 学校日より、学年だよりの定期的な発行 防犯メールの積極的な活用(1年スキー教室から試行…状況報告や写真添付等) 	<ul style="list-style-type: none"> 頑張っている様子が、地域や民生委員に見えてこない。 学校から直接情報が入る工夫をお願いしたい。もっと、学校を宣伝して欲しい。 地域の清掃作業にも参加して欲しい。 多くの学校行事が公開され、子どもたちが頑張っている様子を見ることができた。
	15	学校は、積極的に学校を公開し、地域や保護者との連携を図ろうとしている。	83% B	<ul style="list-style-type: none"> 学期に1回の学校公開日の実施。 多くの保護者が参観できるよう、積極的に土曜日に学校公開・授業参観(4月、1月)とP T A行事(10月・模擬店)を実施した。 校内音楽会を市民ホールで実施した。 	

*評価項目については各学校で領域ごとに項目を2～3設定する。

※評価のAは達成率が90%以上で、Bは60%以上としています。